

KRC WEB REPORT

徒然想

気持ち良い秋晴れの下、街路樹は絶妙なグラデーションを描き、青い空に美しく映えています。季節はめぐり、また一年が過ぎていきます。しかし、古くから続くこの四季の移り変わりが、この数十年の間でどうやら急激に変わってきているような話に触れる機会が増えたように思います。たとえば熱帯雨林の減少が続き、発展途上国に押し付けてきた事などが、めぐりめぐって私たちの生活に還ってきているのかもしれない。同じめぐるなら、日本らしい季節が未来に続いていきますように。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

軍艦島デジタルミュージアムのご紹介

「軍艦島(正式名称:端島)」は2015年7月に「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されました。軍艦島への上陸・周遊ツアーを行なっている「軍艦島コンシェルジュ(久遠龍史社長)」は、天候不順などで海が荒れて上陸できない観光者のために島を疑似体験できる「軍艦島デジタルミュージアム」を2015年9月にオープンしました。弊社は、軍艦島 3D モデルに関するコンテンツの制作を担当しましたのでご紹介いたします。



軍艦島デジタルミュージアム外観

●映像ギャラリー

ミュージアムオープンにあわせ、新たに UAV で空撮を行い、最新の2000枚の撮影画像を SFM (Structure from Motion) 技術で解析処理し、軍艦島の今を 3D モデルで再現、また当時の写真を元に第四壱坑の復元を行いました。UAV での撮影状況や SFM 解析から作成した 3D モデルを動画で紹介しています。「マッピング表示」「TIN 表示」の切り替えにより 3D データであることが判ります。



最新技術SfM (Structure from Motion) により軍艦島の様子をリアルに再現した3DCGを制作。そこに、当時の写真をCGにより加えることで、軍艦島が甦る。

●軍艦島シンフォニー

軍艦島の高精細な 3D モデルを 20 台のプロジェクターを用い、30m の壁面にプロジェクションマッピングしました。投影した画像は、平面、側面のオルソ画像と 30 号棟、ドルシクナー、それに屋根が大きく倒壊した小中学校を詳細に表現しています。これらの技術は、インフラのモニタリングにも十分活用可能なことが再認識できます。



●軍艦島 3D 散歩

マウスで軍艦島の 3D モデルをリアルタイムに自由に視点移動が可能です。鳥の目になって今の軍艦島を自由に鑑賞できます。

その他の展示も様々な最先端のデジタル技術を駆使したコンテンツで、かつての軍艦島や上陸を疑似体験できる新しいミュージアムとなっています。近くを訪れた際はぜひお立ち寄りください。

軍艦島デジタルミュージアム公式 HP (<http://gdm.nagasaki.jp/>)

弊社の作成した 3D モデルに関して HP、YouTube で紹介しておりますので、こちらをご覧ください。

<http://www.krcnet.co.jp/topics/topics90.html> (弊社 HP) YouTube 検索ワード: 軍艦島 計測リサーチ 🔍



(株)計測リサーチコンサルタント HP: <http://www.krcnet.co.jp> Mail: krc@krcnet.co.jp 問合せ: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>